

日本英語学会
第43回大会資料・プログラム

The Forty-Third Conference
of
The English Linguistic Society
of Japan

2025年
11月8日(土) - 9日(日)

九州大学
伊都キャンパス
(Kyushu University, Ito Campus)
(〒819-0395 福岡市西区元岡744)

The English Linguistic Society of Japan

第43回大会スケジュール

11月8日(土)	9:30 ~ 11:45	ワークショップ
	11:30	受付開始
	12:00 ~ 12:50	総会
	13:00 ~ 14:15	研究発表
	14:45 ~ 17:30	公開特別シンポジウム / シンポジウム
	18:00 ~ 20:00	懇親会 (ビッグスカイ (食堂))
11月9日(日)	9:00	受付開始
	9:30 ~ 11:30	研究発表
	13:00 ~ 16:20	特別講演

大会運営委員

三上 傑 (委員長) 堀内ふみ野 (副委員長)
菊地翔太 熊谷学而 香本直子 森田千草 菅野 悟 縄田裕幸 野中大輔
安原正貴 小田博宗 木村博子 水谷謙太 三好暢博 山田彬亮

開催校委員

西岡宣明 (代表) 天津隆広 大塚知昇 前田雅子 吉村理一

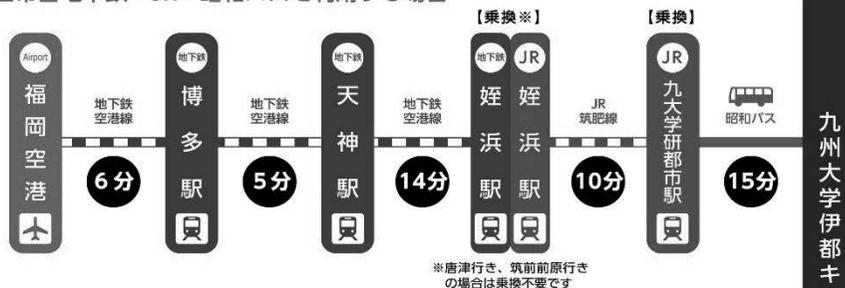
開催校協力委員

黒木隆善 (九州共立大学) 下仮屋翔 (産業医科大学) 田中公介 (産業医科大学)
團迫雅彦 (北九州市立大学) 森竹希望 (福岡大学)

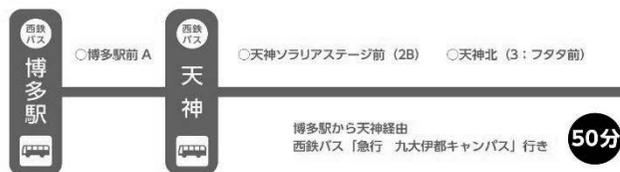
- 今年度の第43回大会は前年度に引き続き、オンライン参加登録システムを導入しています。事前に大会参加登録・参加費納入をお願いいたします。参加費は、会員(一般)2,000円、非会員(一般)3,000円、大学院生2,000円、学部生以下1,000円です。ただし公開特別シンポジウム(シンポジウムA室)のみの入場は無料です。大会参加にあたって必要な発表資料や、Hybrid開催する総会のZoom情報(URL、ID、パスコード)を載せたファイルは、学会ウェブサイトに掲載しています。これらのファイルを開くためのパスワードは、オンライン参加登録・参加費納入後にご案内しています。また、Hybrid開催する公開特別シンポジウムの資料は学会ウェブサイトに掲載しています。大会参加にあたって必要な名札は、参加登録・参加費納入がお済みの方に受付にてお渡ししますので、必ず当日受付にお立ち寄りください。
- 公開特別シンポジウムにオンラインで参加される方は、上記オンライン参加登録システムとは別の参加登録フォームへのご登録をお願いいたします。詳しくは英語学会ホームページをご覧ください。
- 8日(土)・9日(日)の両日も、学会会場のイーストゾーンでは食堂は営業していません。生協売店は両日も10:45~13:15まで営業していますが、数に限りがございますので昼食は各自でご持参いただくようご協力をお願いします。その他の情報につきましては、本冊子の「キャンパス案内」および「ご飲食施設・コンビニのご案内」をご覧ください。
- キャンパス(校舎内および通路)は全面禁煙です。会場でのトイレにつきましては、本冊子「会場案内図」や会場の掲示にて場所をお確かめのうえご利用ください。
- 大会会場に「親と子の部屋」という保育室を設けます(事前予約制)。「親と子の部屋」の詳細につきましては、事務局にお問い合わせください。
- 大会期間中に不測の事態が生じた場合は本部までご連絡をお願いいたします。

九州大学 伊都キャンパスへのアクセス

■市営地下鉄・JR・昭和バスを利用する場合



■西鉄バスを利用する場合 ※



会場：〒 819-0395 福岡市西区元岡 744

九州大学伊都キャンパス イースト1号館・2号館

<https://www3.lit.kyushu-u.ac.jp/access.php>



市営地下鉄・JR 筑肥線 <https://subway.city.fukuoka.lg.jp/schedule/>

市営地下鉄空港線 (JR 筑肥線直通) の筑前前原・唐津方面行きに乗り、「九大学研都市駅」までお越してください。



昭和バス <https://showa-bus.jp/>

〈往路〉

九大学研都市駅 ～ 九大ビッグオレンジ前

(行き先番号 1 または 3 伊都営業所行)

九大学研都市駅 ～ 九大中央図書館 または 九大イーストゾーン※

(行き先番号 2A 九大東ゲート行)

※運行本数が少ないため、昭和バス (行き先番号 1 または 3) のご利用をお勧めいたします。

〈復路〉

センターゾーン入り口 ～ 九大学研都市駅 (行き先番号 1, 2, 3)



九州大学 伊都キャンパスへのアクセス



西鉄バス <https://jik.nishitetsu.jp/>

〈往路〉

博多駅前 A ～ 天神ソラリアステージ前
～ ビッグオレンジ (急行 K)

〈復路〉

ビッグオレンジ発 ～ 九大センターゾーン入り口
～ 天神ワンビル前 ～ 博多駅センタービル前 E (急行 K)



九州大学臨時マイクロバス <https://elsj.jp/>



九大学研都市前～九州大学イーストゾーン間の臨時マイクロバスを運行予定ですが、席に限りがあり、ご乗車できない可能性がありますので、その場合は、昭和バス、または西鉄バスをご利用ください。運行時刻に関しては、大会2週間前に日本英語学会 HP に掲載します。

九州大学伊都キャンパス キャンパス案内

バス停「九大ビッグオレンジ」「九大中央図書館」から会場「イースト2号館」へのアクセス

- ①「九大ビッグオレンジ」で降車後、中央図書館（写真右側、茶色の建物）に向かってください。



- ②中央図書館正面に着きましたら、入り口へ向かうエスカレーター・階段（左下の写真の白い矢印）をお進みください。「九大中央図書館」で降りた方は、こちらが発点です。



- ③図書館入口を通り過ぎ、一番上まで上ると、イースト1号館前（右上の写真）に到着します。会場となるイースト2号館は、写真の建物の右隣です。

会 場 案 内

伊都キャンパス (〒 819-0395 福岡市西区元岡 744)

受付		イースト 2 号館	エントランス
本部		イースト 2 号館	D-107
控室	開催校委員控室	イースト 2 号館	D-106
	司会者・発表者・講師控室	イースト 2 号館	D-109
	一般控室	イースト 1 号館	B-112
	書籍展示	イースト 2 号館	E-101 ~ 104

第 1 日午前

(9:30 ~ 11:45)	<ワークショップ>	第 1 室	イースト 2 号館	D-103
		第 2 室	イースト 2 号館	D-105

第 1 日午後

(13:00 ~ 14:15)	<研究発表>	第一室	イースト 2 号館	D-103
		第二室	イースト 2 号館	D-105
		第三室	イースト 2 号館	E-109
		第四室	イースト 2 号館	E-110
		第五室	イースト 2 号館	E-112
(14:45 ~ 17:30)	<公開特別シンポジウム>	A 室	大講義室 II (Hybrid)	
	<シンポジウム>	B 室	イースト 2 号館	D-103
		C 室	イースト 2 号館	D-105

第 2 日午前

(9:30 ~ 11:30)	<研究発表>	第六室	イースト 2 号館	D-103
		第七室	イースト 2 号館	D-105
		第八室	イースト 2 号館	E-109
		第九室	イースト 2 号館	E-110
		第十室	イースト 2 号館	E-112

第 2 日午後

(13:00 ~ 16:20)	<特別講演>	大講義室 II
-----------------	--------	---------

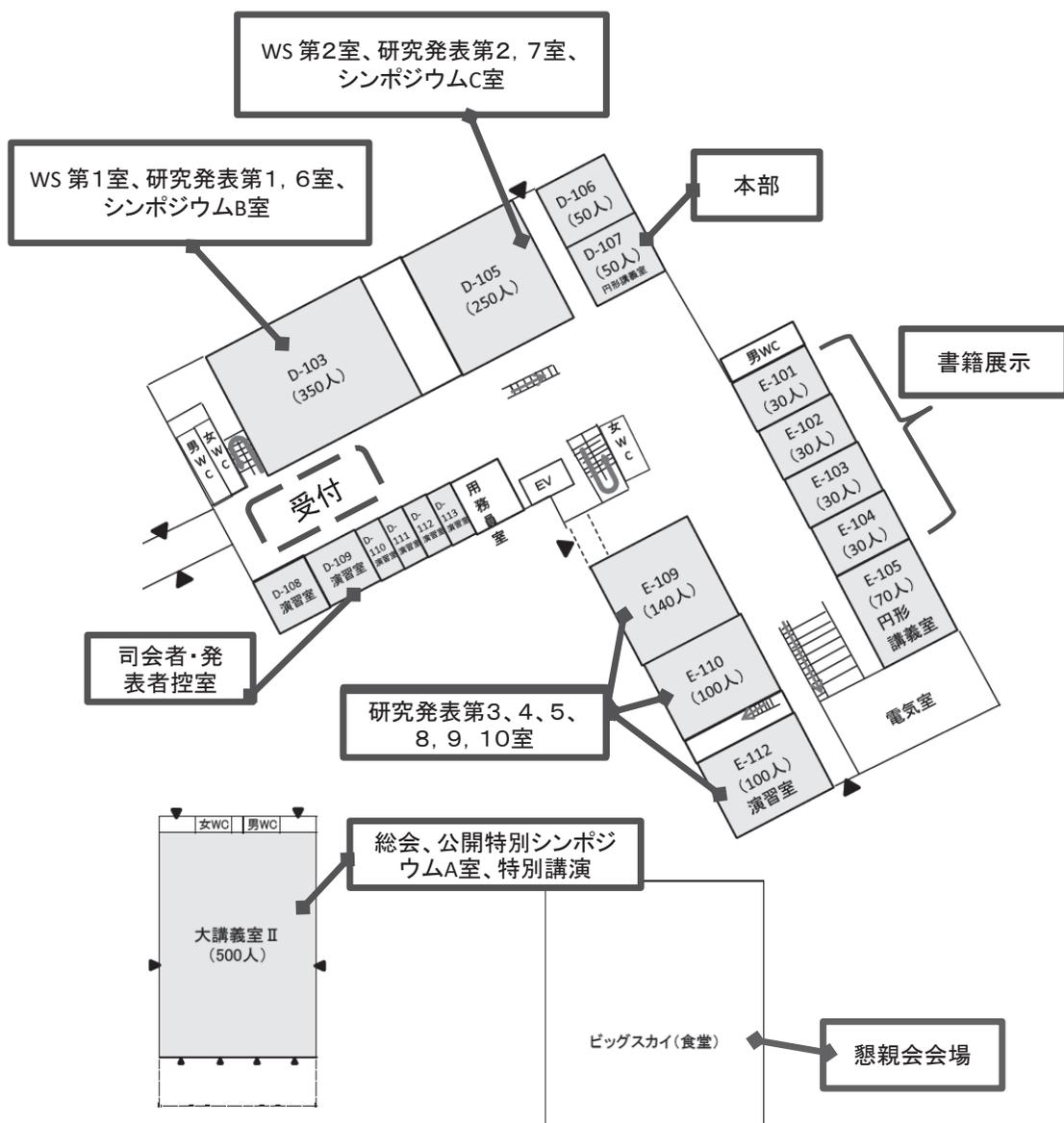
総会 11月8日(土) 12:00 ~ 12:50 大講義室 II (Hybrid)

懇親会 11月8日(土) 18:00 ~ 20:00 ビッグスカイ (食堂)

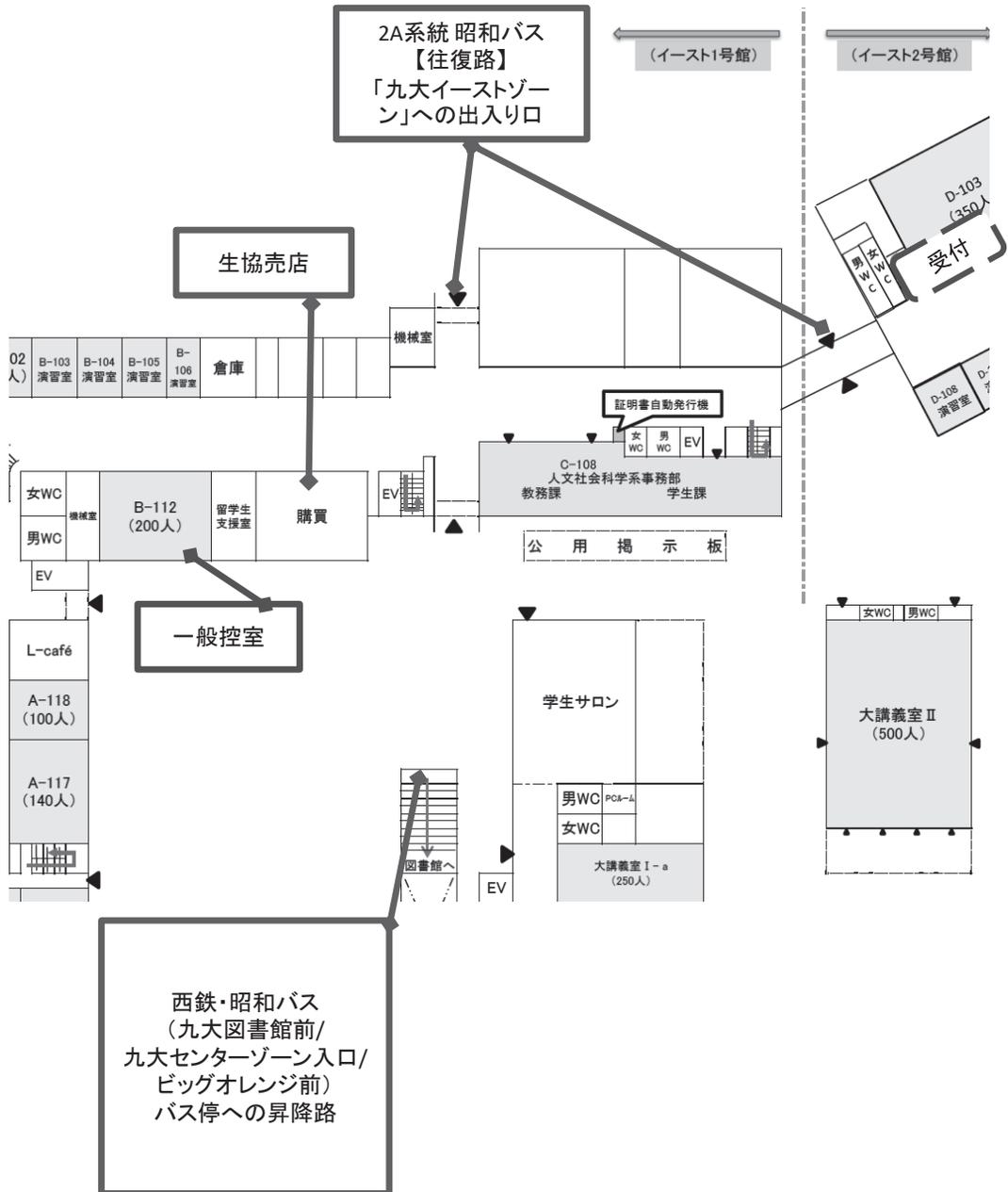
会費: 4000円

(大学院生 3000円、学部生 2000円)

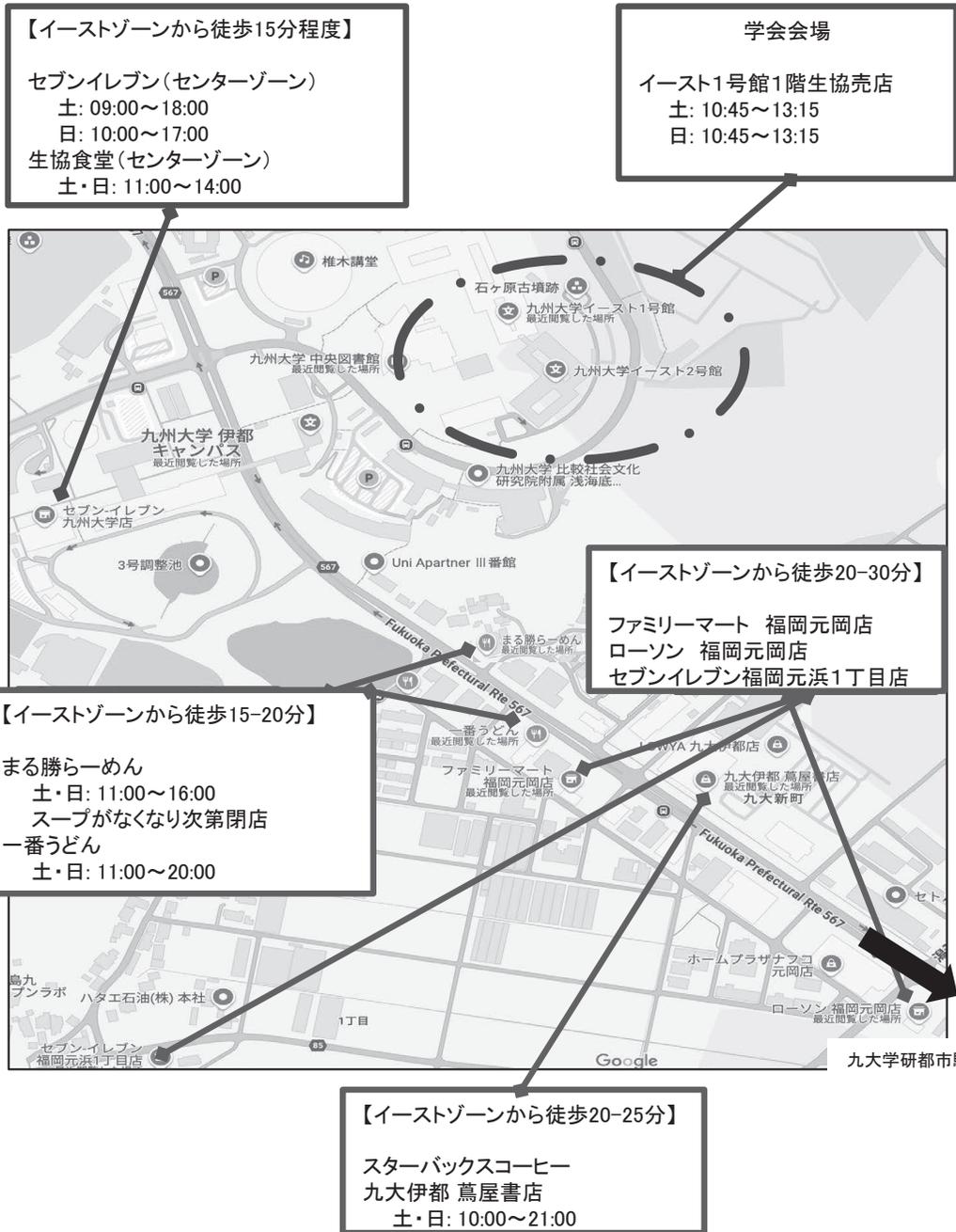
会場案内図：イースト2号館



会場案内図：イースト1号館



ご飲食施設・コンビニのご案内



第 43 回大会プログラム

日本英語学会

第 1 日 11 月 8 日 (土)

ワークショップ 9 時 30 分より 11 時 45 分まで

第 1 室 項の具現化と言語理論：様態・結果の相補性仮説のその先へ

(イースト 2 号館 D-103 室)

責任者 臼杵 岳 (京都産業大学)

司会 臼杵 岳 (京都産業大学)

発表者 前田宏太郎 (愛媛大学)

「名詞転換動詞の様態性と結果性—「強い」反語彙主義の観点から—」

発表者 出水孝典 (神戸学院大学)

「様態・結果の相補性とその見直し」

発表者 臼杵 岳 (京都産業大学)

「項の具現化：日本語から見る様態・結果の相補性」

第 2 室 節性の観点から見る周縁部の構造と節領域について：極小主義プログラムの 30 年をめぐって

(イースト 2 号館 D-105 室)

責任者 宗像 孝 (横浜国立大学)

司会 宗像 孝 (横浜国立大学)

発表者 石井 透 (明治大学)・後藤 亘 (東洋大学)

「SPEC-INFL 再考：Form Set によるアプローチ」

発表者 廣川貴朗 (福井大学)

「節領域・命題領域と A 位置について」

発表者 宗像 孝 (横浜国立大学)

「節領域の要請を満たす統語構造：終焉統語領域における外的併合が果たす役割」

発表者 戸塚 将 (宮城教育大学)

「話題化から見る周縁部と節領域の関係づけ」

受付 11 時 30 分より

(イースト 2 号館 エントランス)

総会 12 時 00 分より 12 時 50 分まで

(大講義室 II)

◇開会の辞 会長 渡辺 明 (東京大学)

◇開催校代表挨拶 九州大学大学院人文科学研究院長 遠城明雄

◇委員会・事務局報告

大会運営委員会報告

委員長 三上 傑 (大東文化大学)

編集委員会報告

委員長 本間伸輔 (新潟大学)

広報委員会報告

委員長 江頭浩樹 (大妻女子大学)

事務局報告

事務局長 葛西宏信 (青山学院大学)

学会賞委員会報告

委員長 早瀬尚子 (龍谷大学)

◇授賞式

研究発表 13時より14時15分まで（第1・第2発表の間に5分休憩）

第一室 (イースト2号館 D-103室)

司会 三好暢博 (旭川医科大学)

13:00 北田伸一 (新潟大学) 「感嘆文形成の認可に課される諸条件」

13:40 末永広大 (長崎大学) 「主語の移動制約再考: Affix の観点から」

第二室 (イースト2号館 D-105室)

司会 小田博宗 (東京大学)

13:00 森竹希望 (福岡大学) 「African American English における主格付与に関する一考察」

13:40 佐藤亮輔 (北海道教育大学) 「内的併合とラベルの二重性」

第三室 (イースト2号館 E-109室)

司会 水谷謙太 (愛知県立大学)

13:00 Asako Matsuda (Wayo Women's University) “Zibun, First-Person, and PRO: The Boundary between *De Se* and *Non-De Se*”

13:40 堤 博一 (都留文科大学) 「「自分」と「彼」の照応から見た *de re* 信念文の分析」

第四室 (イースト2号館 E-110室)

司会 堀内ふみ野 (日本女子大学)

13:00 藤原隆史 (松本大学) 「COHA における状態変化動詞に後続する変化結果を表す前置詞句の通時的分析—ベイズ推定を用いた情報幾何学的距離による可視化—」

13:40 中野裕太 (筑波大学 大学院) 「情報構造から考える提供動詞を含む構文の交替現象」

第五室 (イースト2号館 E-112室)

司会 菊地翔太 (専修大学)

13:00 外 翔太 (名古屋大学 大学院) 「使役動詞の受動文における原形不定詞補文の歴史的発達」

13:40 長谷川優菜 (名古屋大学 大学院) 「英語における主語 *wh* 疑問文に関する極小主義的分析」

公開特別シンポジウム 14時45分より17時30分まで

A室 いま、例文を見つめ直す：実りある対話を目指して (大講義室Ⅱ)

- 司会 野中大輔 (工学院大学)
- 講師 梅谷博之 (武蔵野大学) 「フィールド言語学における例文の役割」
- 講師 平沢慎也 (慶應義塾大学) 「認知文法と例文：Langacker への (潜在的) 誤解を考える」
- 講師 大名 力 (名古屋大学) 「コーパスに基づく定量データの信頼性と解釈の妥当性について」
- 講師 岩田祐子 (明治大学) 「発話の意味はコンテキストで決まる：談話研究の面白さと難しさ」

※当シンポジウムは言語系学会連合との共催です。

シンポジウム 14時45分より17時30分まで

B室 生成文法と代数的言語学の新展開 (イースト2号館 D-103室)

- 司会 福井直樹 (上智大学)
- 講師 福井直樹 (上智大学) 「生成文法と代数的言語学」
- 講師 上野優太郎 (上智大学 大学院) 「探索の数理」
- 講師 梅島奎立 (東京大学) 「数理的言語モデルの生物学的妥当性」

C室 TAMの万華鏡 — 他の西欧言語から見た英語の時制 (Tense)・相 (Aspect)・モダリティ (Modality) — (イースト2号館 D-105室)

- 司会 和田尚明 (筑波大学)
- 講師 和田尚明 (筑波大学) 「Be Going To・Aller・Gaan — 英仏蘭語のGO未来の対照研究 —」
- 講師 渡邊淳也 (東京大学) 「フランス語の現在形の特徴 — 英語との比較 —」
- 講師 山村ひろみ (九州大学 特任研究者) 「スペイン語の進行形の特徴 — 英語との比較 —」

懇親会

18時より20時まで

ビッグスカイ (食堂)

会費：4000円 (大学院生 3000円、学部生 2000円)

第2日 11月9日(日)

午前

受付 9時00分より (イースト2号館 エントランス)

研究発表 9時30分より11時30分まで(第1・第2発表の間に5分休憩)

第六室 (イースト2号館 D-103室)

司会 菅野 悟 (東京理科大学)

9:30 荒井鴻汰 (学習院大学 大学院) 「異常格標示構文とそのウイルス理論的分析」

10:10 山本天斗 (九州大学 大学院) 「再帰代名詞と束縛代名詞の分布に対する原理的な説明への試み」

[10分休憩]

司会 木村博子 (駒澤大学)

10:55 北原久嗣 (慶應義塾大学) 「最小探索に基づくフェイズ主要部 (C, v*) の解釈手続きについて」

第七室 (イースト2号館 D-105室)

司会 山田彬堯 (慶應義塾大学)

9:30 山口洋輝 (学習院大学 大学院) 「日本語における非典型的な主語構文の構造と格付与について」

10:10 小林亮哉 (名古屋工業大学) 「As-inversion の歴史的発達について」

[10分休憩]

司会 水谷謙太 (愛知県立大学)

10:55 坂本瑞生 (東北大学 大学院) 「統語論・語用論インターフェースとしての叙述関係と自由拡充: Copy Raising と Prolepsis の分析」

第八室 (イースト2号館 E-109室)

司会 森田千草 (帝京大学短期大学)

9:30 松田佑治 (名古屋学院大学) 「*be hoped to VP* の準助動詞化を支えるメカニズムとその容認度: *be said to VP* との比較分析」

10:10 出水孝典 (神戸学院大学) 「動詞 *jump* と様態・結果の相補性」

第九室

(イースト2号館 E-110室)

司会 安原正貴 (茨城大学)

9:30 山口真史 (関西外国語大学)

「英語における結果構文に対する小節構造分析の妥当性」

10:10 中村哲也 (関西大学 大学院)

「目的語位置に歩かない実体が生じる walk について」

[10分休憩]

司会 野中大輔 (工学院大学)

10:55 岩宮 努 (三重大学)

「不変化詞 up を伴う句動詞に生じる自動詞構文」

第十室

(イースト2号館 E-112室)

司会 縄田裕幸 (島根大学)

9:30 飯田昇汰 (名古屋大学 大学院)

「前置詞与格構文における語順変異の通時的变化」

10:10 中村丞汰 (名古屋大学 大学院)

「コピー線り上げ構文の史的発達と FormCopy に基づく統語的分析」

午 後

特別講演 13時より16時20分まで

(大講義室Ⅱ)

第Ⅰ講演 13:00

司会 堀内ふみ野 (日本女子大学)

講師 井上逸兵 (慶應義塾大学)

「言語学と社会・言語学とメディア」

第Ⅱ講演 14:10

司会 野中大輔 (工学院大学)

講師 住吉 誠 (関西学院大学)

「直観判断と英語の実態の齟齬を考える—実証的英語語法研究の立場から」

第Ⅲ講演 15:20

司会 熊谷学而 (関西大学)

講師 窪蘭晴夫 (国立国語研究所)

「一般言語学から見た英語と日本語」

【大会参加アンケートご回答のお願い】

日本英語学会第43回大会へご参加いただき誠にありがとうございました。今後の大会に向けて、更なる内容の充実、運営の効率化のため、ご意見をお寄せいただければ幸いです。

<https://tinyurl.com/2b3uzqxf>



2025年9月20日発行

編集・発行 日本英語学会

代表者 渡辺 明

発行所 日本英語学会

<https://elsj.jp/>

〒112-0003

東京都文京区春日2-13-1

芳文堂ビル6F 開拓社内

電話 (03) 6801-5651

印刷所 城島印刷株式会社

© 日本英語学会 2025
